

総合病院
水島協同病院
倉敷市水島南春日町1-1
代表 086-444-3211
外来 086-444-1222



日本医療機能評価機構
「信頼の病院」マーク
ISO9001 認証取得

水島協同病院 だより

No. 343
2023. 2月号



http://www.mizukyo.jp

〔病院理念〕 いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています

子どもの「困った行動」は心のSOS

～発達相談の事例を通して考える～



公認心理師
だんじょう たかし
檀上 貴史

小学生のA君は、担任から「授業中にイライラすると大声を出して騒ぐ」と言われ、母親と発達相談に来ました。心理検査や生育歴の聞き取りから、いくらか発達障がいの特徴を持っていると思われました。

しかしA君の話をじっくり聞くと、数人の友達から「死ね」「消えろ」などと言われ、つらいと話してくれました。イライラしたり大声を出すのは、こうしたじめのストレスの方が大きな要因になっていて、担任にも同様に伝えました。学校もいじめに対処したところ、表情も次第に明るくなり授業中も落ち着いて過ごせるようになりました。(事例は一部

改変しています) このように、大人から見ると「困った行動」「わがまま」と思えることにも必ず子どもなりの理由があり、SOSが隠れている場合があります。何よりも子どもの心にきちんと向き合おうとする大人の姿勢が大切だと思います。



毎回活発に意見交換がおこなわれています (左が國永医師、手前が筆者)

専攻医の友野です。当院で毎月第一水曜日に開催している水島地域救急総合診療学習会の紹介をしたいと思います。この学習会は若手教育に力を入れられている、倉敷中央病院救急科の國永直樹医師のご厚意のもと、救急医療に携わる医師や看護師を中心におこなっています。2021年からは水島中央病院の先生も参加されており、ますます盛んになってきています。

私は昨年4月より前任から引き継ぎ、学習会の発表担当医の調整役を担っています。毎回1症例を担当の医師が発表しますが、発表を行うのはまだ経験の浅い、研修医や専攻医で、研修医には救急科研修が終わるタイミングで依頼することが多く、指導医の協力を得て、救急での対応症例について学びを深めています。学習会では、実際の対応について國永医師や当院指導医からのアドバイスを踏まえて皆で考え、症例の診断や対応の振り返りを通して、今後の診療へ活かせる点が、取り組んできてよかったと感じています。

これからも一人ひとりの成長が促され、一つでも二つでも身につくよう励みたいと思います。(専攻医 友野 宏志)

初期研修医のもっと学びたい!!の声から
研修医や専攻医の学びの場
救急総合診療学習会をご紹介

連載 みずきょうの診察室から

生活・からだ・こころを整える
地域包括ケア病棟をスタート
その人らしくいられる
地域づくりのお手伝い

内科医師
ひなた まこと
日向 眞



今回は当院において新しく始めた、地域包括ケア病棟についてお話しします。

地域の継続はもちろん、退院先で必要な実際の生活動作に特化したリハビリをしたり、介護保険の導入やサービス調整をおこなったりできます。

また、在宅や施設等で療養しながら生活されている方が、少し体調を崩されたときに入院して調子を整えるのにも有用です。

この病棟の大きな特徴は、急性期医療を受けた後から在宅に戻るために必要な準備をおこなえるという点にあり、すぐ退院するのが困難な方や不安を感じる方にとって欠かせない病棟といえます。そして、住み慣れた家や介護施設等に帰るために何が必要か検討して、必要なことを患者さんや家族とともに準備していきます。急性期病棟から

当院はこれからも地域密着病院として、患者さんや家族が安心して退院先に戻れるよう、訪問診療スタッフ、在宅介護スタッフなど様々な職種で協力し、患者さんの在宅生活がよりよいものであるように努めていきます。